

平成30年度実施 Schoolteacher Recruitment in Sagami-hara City Public Schools



相模原市
マスコットキャラクター
さがみん

相模原市立 学校教員募集



た か ら
が**財産**の
さがみはら

平成30年
受験申込期限 **5/22** 火
第1次試験 **7/8** 日
平成30年



さがみはら教育

Education in Sagamihara

基本理念

基本方針

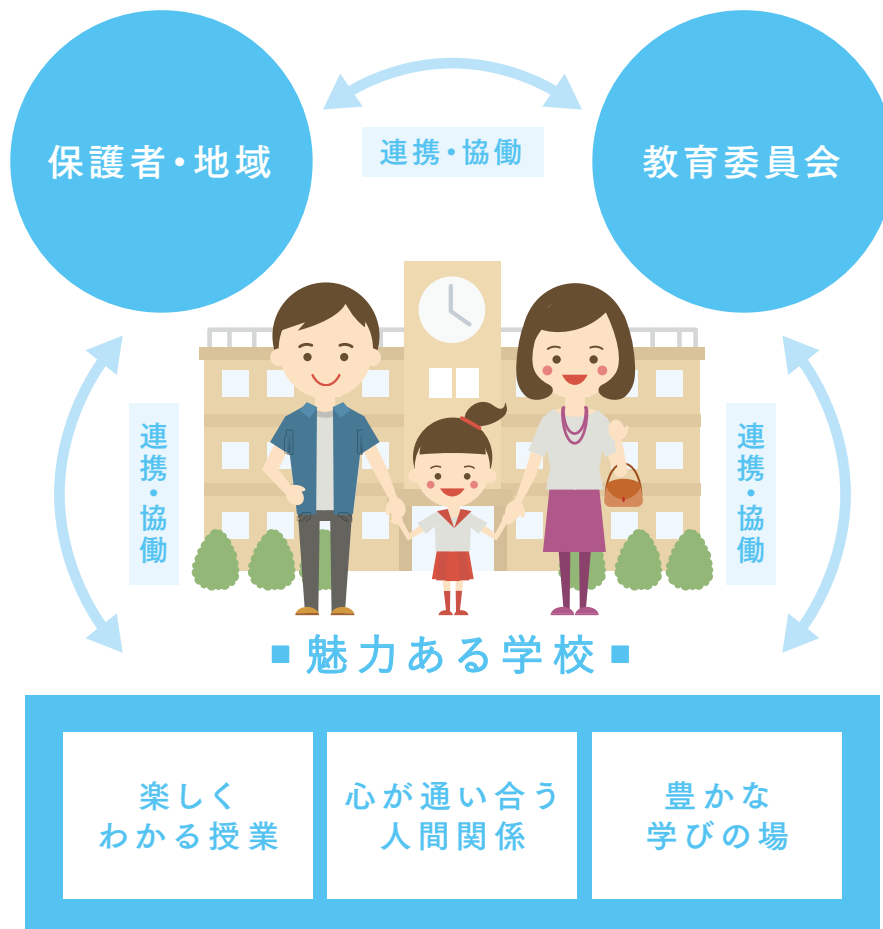
たから

人が財産

1. 社会の変化を踏まえ、生きる力を育む学校教育を推進します。
2. 支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた取組みを充実します。
3. 学校教育の充実に向けた人材の確保と育成を進めます。
4. 子どもの学びを支える学校教育環境を整備・充実します。
5. 地域に根ざした特色ある学校運営をめざします。

さがみはら未来をひらく学びプラン

広く世界に目を向け、自ら学び、ともに心豊かにたくましく生きる子どもをはぐくむ魅力ある学校づくりを行っています。



求める教師像

人間性

人間性 豊かな教師

子どもと共に感動を
分かち合い、情熱を持って
夢を語る教師



信頼性

信頼 される教師

子どもの願いや悩みに
真剣に向き合い、
家庭・地域・仲間と共に、
その実現・解決に努める教師

向上心

指導力 向上に努める教師

子ども一人ひとりが
「もっと学びたい」「もっと知りたい」と
感じる授業を目指し、
その実現のため自己研鑽に
努める教師





さがみはら教育の主な特色

Characteristics of Education in Sagamihara

国際教育の推進

児童・生徒が社会の変化に対応できる資質・能力及び国際感覚を養い、広い視野で物事を考え、進んで国際社会に参加し、世界の人々と協力・共生していくために、国際教育及び英語教育の充実を図っています。



主な取組

■全小・中学校へ

外国人英語指導助手(ALT)の配置

英語科教員、学級担任が中心となつて行う外国語の授業を支援し、「聞く・話す」を中心とした英語教育の充実と、国際社会の一員として積極的に諸課題の解決に参画しようとする能力の育成を図っています。

■日本語指導の充実

海外帰国及び外国人児童・生徒に対して、日本語指導の充実を図り、学校生活への適応を支援しています。

支援教育の充実

全ての子どもが楽しく、いきいきと学ぶ姿をめざし、支援体制を充実させるとともに、個別の支援も行うなど、児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応していく支援教育を推進しています。



主な取組

■巡回相談の充実

支援教育指導員が小・中学校を巡回し、専門的な立場から支援を必要とする児童・生徒に対する支援方法について指導助言を行うことで、各学校の支援教育の校内体制やきめ細かな支援の充実を図っています。

■通級指導教室の設置

発達や情緒に課題がある児童・生徒が通う「サポートルーム」、言語や聞こえに課題がある児童が通う「きこえとことばの教室」を設置し、それぞれの課題に応じた指導を行っています。

その他にも

- 教育研究の推進
- 教育相談の実施
- 社会教育の推進
- 学社連携・協働の推進など様々な取り組みをしています。



情報教育・学校の情報化

児童・生徒の情報活用能力の育成、教員によるICTを活用した授業改善、安全で効率的な校務の情報化のための環境整備を進め、タブレットPCを活用した授業を行うことにより、本市独自の新たな授業スタイルを確立し、より質の高い学びの創造を推進しています。

主な取組

■ 情報活用能力の育成

小・中学校全校でプログラミング教育を推進しています。

■ ICTを活用した授業改善

1人1台のタブレットPCを活用した授業改善研究校を設置し、次世代の学校の実現をめざしています。

■ 校務の情報化

校務支援システム導入により、安全で効率的な成績処理を支援しています。



体験的教育活動 文化的教育活動

市内にある教育施設「相模川ビレッジ若あゆ」や「ふじの体験の森やませみ」を利用し、相模原の四季がおりなす豊かな自然の中で、子どもたちと教員が寝食を共にし、ふれあいを深めながら様々な体験活動に挑戦しています。体験活動を通して、児童・生徒の創造性及び主体性を培い、豊かな心を育む教育を推進しています。

主な取組

■ 体験プログラムの充実

子どもたちそれぞれが「主役」となり、体験活動を通して、新たな発見をし、自ら進んで学ぶことの楽しさを感じながら、自主性や創造性を育てるように、充実した体験活動プログラムを用意しています。





子どもたちのために ～連携・協働～

For Children in Sagamihara

観察実験アシスタント

小学校全校に配置。理科の授業における観察・実験活動を充実させ、子どもたちの学ぶ意欲や思考力の向上の支援をしています。

指導教諭

市内小学校に5人配置。教員の授業力向上のために、自ら授業公開を行うとともに、授業について指導助言を行うなど、勤務校、近隣校の授業改善を支援します。

日本語巡回指導講師

日本語指導を要する児童生徒に対し、日本語の個別指導を行うなどして、子どもたちが学校生活を送るうえで必要な日本語が習得できるよう支援をしています。
また、母語が話せる協力者を学校に派遣して、子どもたちが安心して学校生活を送れるように支援しています。

チームさがみはら

学習支援スタッフ

市内中学校10校程度配置予定。生徒の学力の向上や学習意欲の向上を図るため、数学、英語を中心に放課後の補習を退職教員や教員をめざす大学生等が行い、生徒の自主的な学習を支援します。



支援教育支援員

全小中学校に配置。通常の学級や特別支援学級において、教育的支援が必要な児童生徒に対し、きめ細かな支援を行っています。

学習支援員

市内小学校に20人配置。児童の基礎的・基本的な学力の習得、習熟を図るため、算数、国語の授業において、ティームティーチング、個別支援、教材作成を行うなど、児童の学習支援等を行います。

支援教育コーディネーター

学校と福祉・医療等との連絡役や保護者の相談窓口として、学校、家庭、専門機関をつなぐ、校内支援体制のまとめ役として児童生徒や保護者を支援しています。



健康安心サポート

健康の保持増進に専門的立場から助言をします。
 学校現場に理解の深い医師、保健師、臨床心理士といった医療スタッフが、皆さんの体と心の様々な相談に応じ、健康に働けるように応援しています。学校に向かいの相談も行っています。

児童支援専任教諭

小学校全校に配置。いじめ、不登校、発達障害など支援が必要な児童生徒に対して、きめ細かな対応を組織的に行います。

学校支援ボランティア

多様な知識や経験を持つ地域の方等とのふれあいを通して、子どもたちの学習に対する興味や関心、意欲を高めています。また多くの大人が子どもたちを見守ることで、よりきめ細かな教育の実現をめざしています。



部活動技術指導者

中学校の部活動において、専門的な知識や技能を持った地域の方々に顧問教諭をサポートしていただいています。

青少年教育カウンセラー

全小中学校に配置。児童生徒、保護者の相談役として、学校における悩み、心配事に対応しています。

子どもたちが安心して学べるよう、相模原市の学校では、先生方の支援をしてくれる方や児童生徒を支援してくれる方がいます。校内で全体がチームとして連携・協働し、魅力ある学校づくりに励んでいます。

スクールソーシャルワーカー

各校からの要請に応じて、7人のワーカーが福祉的側面からの支援を行っています。

スクールサポートスタッフ

教員が児童生徒に関わる時間を確保するため、学習プリント等の印刷や授業準備、片付け、教室掲示等の補助を行います。

図書整理員

学校図書館にある蔵書や資料の整理、学習情報の収集・集積・整備・提供のほか、子どもの読書相談に応じるなど、子どもたちが本に親しめるように学校図書館の環境づくりをしています。



学び続ける教師を支援

Support for Teachers Continuing to Learn

教職員の研修体系

	年	ライフステージ研修	その他の研修
基礎期		非常勤講師研修講座	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>専門研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上研修 ・支援教育研修 ・情報教育研修 ・教育課題研修 ・担当者研修 </div> <div style="width: 35%;"> <p>学校への訪問支援研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修支援研修 ・情報教育訪問サポート研修 ・学校の要請に応じた指導主事等の訪問支援研修 ・CSTの訪問支援研修 ・JAXA職員の訪問支援研修 ・東京工業高等専門学校職員の訪問支援研修 ・教育実践相談 </div> <div style="width: 30%;"> <p>特別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外委託研修 ・情報教育特別研修 ・長期派遣研修 ・特別支援教育大学派遣研修 ・英語教育推進リーダー中央研修 ・独立行政法人教職員支援機構主催研修 </div> </div>
		常勤代替教諭研修講座	
形成期	1	初任者・新採用研修講座	
	2	2年次研修講座	
	3	3年次研修講座	
向上期	6	6年次研修講座	
	11	中堅教諭等 資質向上研修講座	
発展期	15	15年次研修講座	
	20	学校運営推進者 研修講座	
円熟期	25	新任副校長研修講座	
		副校長研修講座	
		新任校長研修講座	
		校長研修講座	



ライフステージ研修

初任の教員を対象とした初任者研修では、気付きや謙虚に学ぶ姿勢から始まり、実践的な授業力や指導力、教員としての基礎的知識等を学びます。その後も、ライフステージに応じた研修でキャリアアップをサポートしています。



青野原小学校
教諭 緒形 健太



「先生、これからよろしくお願ひします。」子どもが笑顔でこの言葉をかけてくれたとき、教師になったことを実感するとともに、この笑顔のために頑張ろうと強く思いました。子どもにとっては初任であれ、先生は先生。その期待に応えられるか不安もありましたが、初任者研修等で指導教員や同期から助言をもらいながら、教師としての力をつけることができました。今後も子どもの姿を第一に、学び続ける姿勢を大切にしていきたいです。



1年目

初任者研修

児童生徒理解

2年目

2年次研修

多面的・多角的な
見方の深化

3年目

3年次研修

授業づくりの充実

6年目

6年次研修

同僚と関わり合う
授業研究

11年目

中堅教諭等
資質向上研修

人材育成を意識した
授業研究

15年目

15年次研修



橋本小学校
教諭 高橋 梢



3年次研修では、自分の決めたテーマを胸に、年間を通して授業を行いました。受講したことで、系統性のある指導の大切さを学ぶことができました。他の先生方の授業を観る機会もあり、授業だけでなくその土台となる学級経営についても新たな発見がありました。研修で学んだことを学級の実態に照らして実践し、よりよい授業づくりや学級経営に生かしていきたいと思ひます。今後も、子どもとともに成長できる自分でありたいです。



校内研修(210時間)

勤務学校内で行う研修です。授業に関する研修(授業実践、授業参観等)、学校教育全般に関する研修等を行います。初任者研修の担当指導教員を中心に学校の教職員全員で学びをサポートします。



校外研修(年間15回)

勤務校外で行う研修です。主に総合学習センターで行います。少人数のグループに担当指導主事がつき、きめ細かな指導のもと、児童生徒理解、授業づくり・学級づくりの基礎を中心に学びます。



宿泊研修(1泊2日)

市内にある教育施設「相模川自然の村野外体験教室(若あゆ)」で行います。自分と向き合うことや、他者を理解し、共感することの大切さを学びます。



中央中学校
教諭 西村 祐穂



自分が初任だった頃と比べ、教員の年齢構成は大きく変わりました。20代・30代が多く占める中、中堅教諭として若手を育てていく責任を日々実感しています。今年度は中堅教諭等資質向上研修を通して実践的な人材育成を学ぶことができ、教育活動の充実を図れた年でした。子どもの成長には教員自身の研鑽が欠かせません。相模原市は法定研修以外にも研修の機会が多く設けられています。これからも研修を通して研鑽に励んでいきたいです。

先輩教員の声 ～平成29年度初任者～

Voice from Experienced Teachers



養護教諭 漆原 里恵
谷口小学校(横浜市出身)

Q

教員を志した理由は何ですか？

私は初め「困っている人を助けたい」という想いから看護師を目指していました。しかし、不登校で苦しむ人を身近で目の当たりにし、「学校という現場で困っている人を助けたい」という想いから養護教諭を目指すようになりました。

Q

相模原市を受験した理由、
また相模原市を選んで良かった
(相模原のここがイイ!)
と思う点はどこですか？

養護教諭同士の情報交換のできる機会が多くあることです。同期の養護教諭や、先輩の養護教諭の先生方とも話しやすく、分からないことや困ったことを気兼ねなく聞ける雰囲気があります。また、小中合同に話し合える機会もあるのでとても充実しています。

Q

教員という仕事の魅力や、
やりがいを教えてください。

保健室経営をしていると、命に関わる職でもあり、不安になることもあります。しかし、応急処置をして子どもたちが元気になった姿を見たり、教室に入れなかった子が笑顔で入れるようになった姿を見たりした時に、心の中で「よしっ!」と叫び、養護教諭のやりがいを感じます。

Q

職場の雰囲気、同僚、先輩との
関係はどうか

職場の雰囲気は和気藹々としています。始めは養護教諭という一人職に不安な気持ちがありましたが、現場の先生方は一緒に考えてくれたり、困ったときは助けてくれたりする優しい先生方ばかりです。職場の人たちと休日に遊びに行ったり、ご飯を食べたりすることもあり、とても楽しい職場です。

Q

教員採用試験に向けて
どんな勉強をしましたか？

教育の時事問題について重点的に勉強しました。あいうえお順に資料を並べたり、1日中大学にこもって同じ教員を目指す仲間と面接練習に励みました。また、私の大学からは毎年相模原に就職する先生がいたので、その先生と連絡を取り合い相模原市の教育現場の生の声を聞いて将来働く姿を夢見ていました。

Q

相模原市を受験した理由、
また相模原市を選んで良かった
(相模原のここがイイ!)
と思う点はどこですか？

愛知県出身の私が相模原市を志望した理由は、相模原市立博物館を訪れたことがきっかけです。博物館の展示物の紹介文は、説明だけでなく、さらなる学習意欲を高めるような問い返しの入った紹介文であり、感動しました。その時「この教育資源を使ってぜひ授業を作り上げたい、子どもたちと考える授業をしたい。」と強く思い、志望しました。

Q

教員という仕事の魅力や、
やりがいを教えてください。

日々の生活の中から、子どもたちの成長や素敵な一面を一番身近で感じることができるところです。そして、その成長や素敵な一面を保護者に伝えていくことが私の仕事のひとつだと考えています。保護者の方から感謝の言葉をいただいた時は、私は改めて「保護者の方から大切な子どもを預かっているということ。また、その子どもたちを学習の面でも生活の面でも成長させる場所こそが、学校なんだ。」と実感し、心から、教員になって良かったと思えました。

Q

受験生へのメッセージを
お願いします。

心身共に健康第一です。自分を大切に、自分と向き合いながら、採用試験を乗り切ってください。その先には、少々の困難と、たくさん励ましや喜び、子どもの笑顔と充実した毎日が、きっと待っています。子どもたちのために一緒に働きましょう。



教諭 沖 柚希
星が丘小学校(愛知県出身)

Q

教員を志した理由は何ですか？

小、中学生の時に温かく、時に厳しく関わってくれた担任の先生に尊敬を抱いたことが最初の動機です。さらに大学で学んでいく中で、子どもたちにできる喜びや分かる楽しさを伝えたいと思うようになりました。また、常勤代替等で働くようになってからは、特別支援学級の担当になり、子どもたちの自立に向けた指導・支援をしたいと思うようになったからです。

Q

相模原市を受験した理由、また相模原市を選んで良かった(相模原のここがイイ!)と思う点はどこですか？

相模原市は生まれ育った場所であり、相模原市の子どもたちのために働きたいと思ったので、受験しました。また、支援教育に携わっていたので、募集教科等に「特別支援」があることに魅力を感じ、受験しました。

Q

教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

授業や行事等を通して、子どもたちの真剣な表情や成長が見られるところです。日々の積み重ねが成長につながっていくことを子どもたちから学んでいます。できた時に見せる子どもたちの笑顔や自信に満ちあふれた顔がたくさん見られるよう、常に学び続けています。

Q

休日の過ごし方を教えてください。

基本的には部活動です。練習後は、同じ部活動の先輩教員と昼食を食べに行くことが多いです。食事をしながら、仕事のことなど、いろいろ聞けるので、とても勉強になります。部活動が休みの日は、読書や録画したテレビをまとめて見て過ごしています。



教諭 川上 健太郎

大沢中学校(相模原市出身)



教諭 小田原 大夢

相模丘中学校(奈良県出身)

Q

教員採用試験に向けてどんな勉強をしましたか？

教員採用試験の受験経験がなかったため、どのような勉強をしていけば良いのかわかりませんでした。筆記試験に向けて、たくさん問題を解いて知識を深めるとともに、自分はどのような教師になりたいのかを考え、友人と語り合うなどして、自己理解・表現力の向上に努めました。

Q

相模原市を受験した理由、また相模原市を選んで良かった(相模原のここがイイ!)と思う点はどこですか？

教員が学び続けられる環境が整っているところです。私は初任者研修等の研修を受けて、様々な学びや気づきがありました。これらの研修によって、自分の課題が明らかになり、もっと教師として成長したいというモチベーションにつながります。

Q

休日の過ごし方を教えてください。

友人とドライブに行ったり、ショッピングを楽しんだりしています。まとまった休みが取れたときには実家に帰って元気な姿を親に見せます。休日にアクティブに過ごすことで、気分転換ができ、仕事につながる新たな発見ができたりします。

Q

受験生へのメッセージをお願いします。

教育や子どもたちに対する熱い思いを出し切ってください。教師として、人間として子どもたちに真っ直ぐ向き合うことが、子どもたちの健やかな成長につながると思います。相模原市で子どもたちと共に成長していきましょう。



学校の1週間

One Week at School



向陽小学校 教諭 野村 健太

相模原市の小学校のいいところ **魅力** を教えてください。

子どもの無限大の可能性を引き出せる行事、施設が多くあります。日頃の造形活動の成果を見せる風つ展。本校の作品だけでなく、多くの学校の作品に触れることができ、感性が研がれていきます。自然の中で子どもたちが体験活動できる相模川ビレッジ若あゆやませみ。一日を豊かな自然の中で仲間と共に過ごし、自ら活動することで相手を思いやり、協力する『心』を学ぶことができます。子どもを相模原市全体で育てていこうという姿勢が魅力です。



子どもたちは発表する子の目を見て聞くことを意識しています。みんなが聞いているので安心して堂々と話すことができます。

「先生、遊ぼう。」昼休みは子どもたちのその一言から始まります。木曜日のロング昼休みは子どもたちが考えた遊びをクラス全員で楽しみます。



放課後は学年の先生と教材研究をします。「どうすれば子どもの学びが深まるのか」とことん話し合います。

一週間のスケジュール schedule for one week

時間	月	火	水	木	金
	学校着 授業の準備 学級通信作成				
	朝学習・朝の会				
1 時間目	国語	体育	国語	国語	生活科 1
2 時間目	国語	国語 (図書)	算数	算数	生活科
3 時間目	算数	国語	国語	音楽	国語
4 時間目	生活科	算数	道徳	国語	算数
給食	給食指導				
昼休み	子どもたちと遊ぶ 2				
5 時間目	音楽	図工	体育	体育	書写
6 時間目		図工	校内研 会議		
放課後	学年の先生と教材研究や授業について、校内研究をしています。 3				
	退勤				

小学校の主な行事



若あゆ(体験学習)



社会科見学



修学旅行

相武台中学校 教諭 牧野 朝輝

相模原市の中学校のいいところ **魅力** を教えてください。

私の中学校では、学年・学校共にチームワークが良く、あたたかく、恵まれた人間関係の中で仕事ができています。学校が一丸となって生徒指導や特別活動等に取り組む大切さを学んでいます。校外では風子展での小中交流、美術主任会では普段困っていることを共有し、互いの授業を参観し授業力を高めています。教員として自分を磨く場が充実しているところが相模原の魅力だと思います。



一週間のスケジュール schedule for one week

時間	月	火	水	木	金	土・日	
出勤・部活動(朝練)							
1日のスケジュール確認・打合せ							
1時間目	授業準備 資料作成	授業準備 資料作成	生徒指導 会議	授業準備 資料作成	道徳	部活動 公式戦	
2時間目	美術 1	美術	授業準備 資料作成	美術	美術		
3時間目	美術	美術	美術	美術	美術		
昼休み	昼食・昼休み 2						3
4時間目	授業準備 書類作成	美術	授業準備 資料作成	授業準備 資料作成	美術		
5時間目	総合 学習	美術	学級 活動	授業準備 資料作成	美術		
6時間目	総合 学習	美術	学級・ 学年活動	美術	授業準備 資料作成		
放課後	職員会議 学年会議	部活動		部活動/ 委員会活動	部活動		
退勤							

1



生徒の気づきを大切に、深い学びが起きるような、授業展開を心がけています。

2

生徒との会話や活動を通して生徒理解を深めたり、学級活動の準備をしたりなど、大切な教育の時間です。



3



技術面だけでなく、同じ目標に向かって仲間と共に切磋琢磨する喜びや勝負の厳しさを伝えるなど、心身共に成長していける指導を心がけています。

中学校の主な行事



学校祭(体育部門)



学校祭(文化部門)



職業体験

魅力あるまち、相模原

Explore Sagami-hara

現職教員おすすめ



現職教員おすすめ



子どもたちの興味が引き立てられるような内容になっています。また、季節によって内容が異なり、いつ行っても楽しめるものになっているのでおすすめです！

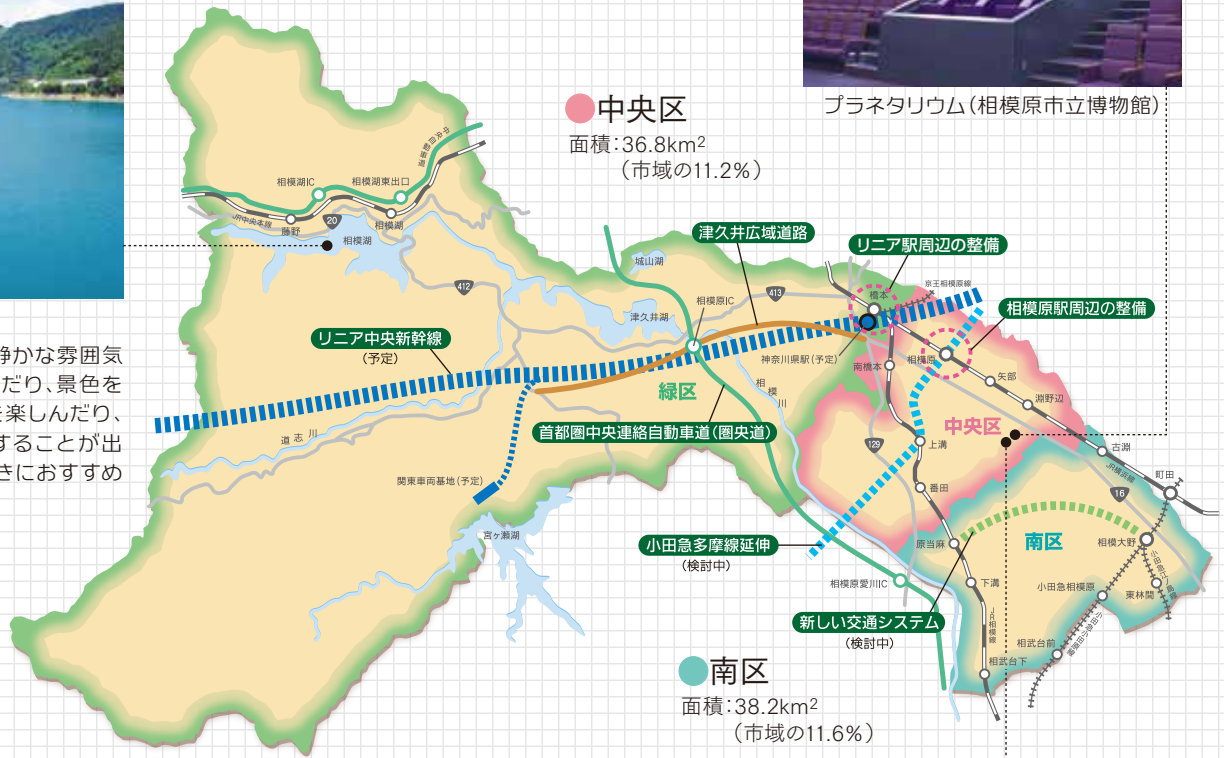


プラネタリウム(相模原市立博物館)



相模湖

相模湖付近では自然の静かな雰囲気の中でゆっくりとくつろいだり、景色を楽しみながらランニングを楽しんだり、自分に合った過ごし方をすることが出来ます。気分転換したいときにおすすめの場所です！



緑区

面積: 253.8km²
(市域の77.2%)

南区

面積: 38.2km²
(市域の11.6%)



JAXA相模原キャンパス

宇宙への夢を育む

日本の宇宙科学研究の重要拠点であり、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」を開発・運用するJAXA相模原キャンパスがある相模原市は、宇宙を身近に感じられるまちです。

スポーツ都市の実現

本市では、市内に活動拠点を置き、全国での活躍が期待できるスポーツチームを「相模原市ホームタウンチーム」として認定し、支援することにより、シティセールスやスポーツ振興に生かしています。



相模原市ホームタウンチーム

人口・世帯数データ

	相模原市	緑区	中央区	南区
人口(人)	722,688	172,347	271,644	278,697
世帯数(世帯)	319,630	72,751	119,825	127,054

平成30年1月1日 現在

相模原市立学校データ

	小学校	中学校	合計
学校数(校)	72	37	109
学級数(数)	1,341	559	1,900
児童生徒数(人)	35,883	16,835	52,718
教職員数(人)	1,952	1,122	3,074

平成29年5月1日 現在



WELCOME TO SAGAMIHARA

Pick Up

01

未来を拓く さがみはら新都心



本市では、橋本・相模原両駅周辺を一体的な「広域交流拠点」と位置付け、50年、100年先を見据えたまちづくりを進めています。
 また、国が平成28年3月に決定した「首都圏広域地方計画」において、リニア中央新幹線によるスーパーメガリージョン形成の一翼として位置づけられる等、国土づくりに沿った展開が期待されています。

リニア駅周辺のまちづくり

橋本駅を中心に、その周辺地区が対象となります。特に南口周辺は、重点的に整備が必要な地区として、平成39年のリニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりを目指しています。



橋本駅周辺の将来イメージ

相模原駅周辺のまちづくり

相模原駅を中心に、その周辺地区が対象となります。特に、相模総合補給廠の一部返還地(約17ヘクタール)は、新市街地の形成により、相模原駅周辺地区全体の発展の契機として、その役割が期待されています。



相模原駅周辺の将来イメージ

Pick Up

02

男女ともに働きやすいまちに！

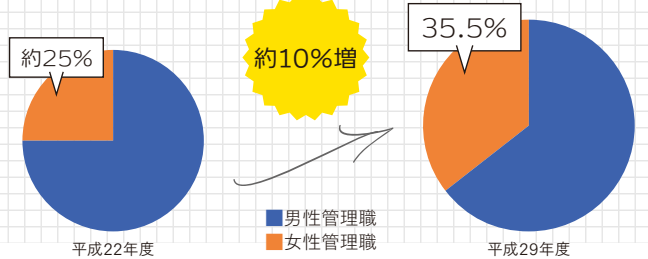
教職員の働き方改革にも取り組んでいます。

・相模原市の育児支援

相模原市では、本市の未来を担う子どもたちが、将来に夢と希望を持ち、健やかに成長できるための環境づくりを進めています。子育て世代に対して、妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、子どもの福祉・子育て分野の窓口を一本化した子育て支援センターを設置しているほか、小児医療費助成の充実、保育所や児童クラブの待機児童対策の推進、子どもの居場所づくりなど、子ども・子育て環境の充実に取り組んでいます。

・女性管理職の登用

本市では、女性教員の人材育成と積極的な活用を図っています。女性管理職の登用については、全国の公立小中学校で女性管理職が占める割合の平均が20%に満たないのに対し、本市は35.5%(平成29年度現在)と大きく上回っています。



平成30年度採用試験の概要

平成29年度実施採用試験結果

受験区分・教科等	募集数	受験者数	合格者数	合格倍率	
小学校	80人程度	313	85	3.7	
中学校	国語	4人程度	38	4	9.5
	社会	若干名	80	3	26.7
	数学	7人程度	42	7	6.0
	理科	若干名	25	1	25.0
	音楽	若干名	18	1	18.0
	美術	若干名	10	2	5.0
	保健体育	5人程度	74	5	14.8
	技術	若干名	0	-	-
	家庭	若干名	7	1	7.0
	英語	4人程度	41	4	10.3
特別支援	5人程度	20	4	5.0	
計	34人程度	355	32	11.1	
養護教諭	8人程度	43	9	4.8	
合計	122人程度	711	126	5.6	

選考試験の概要

第1次試験

- 筆記試験(マークシート方式)
教科専門試験、一般教養・教職専門試験

2次試験は、面接を中心とした人物重視の選考を行います。

第2次試験

- 課題作文
小学校、中学校、中学校特別支援及び養護教諭ごとのテーマによる課題作文(第1次試験と同日に実施)
- 模擬授業
各教科の導入から展開にかけての模擬授業

- 個人面接Ⅰ
教科指導及び専門性、人物に関する面接
- 個人面接Ⅱ
教員としての資質や適性、人物に関する面接
- 実技試験
中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭及び英語受験者のみ実施

待遇・福利厚生について

■給与

新規卒業(修了)者の初任給は、概算で次のとおりです。
なお、採用前に職歴などがある人は、その内容に応じて加算されます。

区分	修士課程修了	大学卒	短大卒
初任給	269,156円	24,3014円	21,6506円

平成30年4月1日現在

※上記の額は、給料・教職調整額・地域手当・義務教育等教員特別手当を含みます。
その他、各個人の状況に応じて、通勤手当・扶養手当・住居手当なども支給されます。

■賞与

- ・期末手当及び勤勉手当が年2回(6月、12月)支給されます。
- ・住居手当:自ら居住するため住宅を借り受け、月額12,000円を超える家賃を払っている職員で、借受主義人である者に支給されます。支給額は家賃によって異なり、上限は27,000円です。このほかにも、状況に応じて諸手当が支給されます。

■勤務時間

勤務時間は1日7時間45分、1週間につき38時間45分です。
休暇等は年次休暇(20日)、夏季休暇・出産休暇、育児休業等の制度があります。

■福利厚生

- 各互助組織等において、各種福利厚生事業を行っています。
- ・公立学校共済組合:健康保険等の社会保険、資金貸付、施設の割引利用等
- ・相模原市立学校教職員互助会:人間ドック助成、バスツアー、ボウリング大会等
- ・(一財)神奈川県教育福祉振興会:住宅建設資金貸付、慶弔金給付等
- ・相模原市職員生活協同組合:優待販売、団体保険等

採用までのスケジュール

受験申込の受付

平成30年
4月5日(木)～5月22日(火)

第1次試験

7月8日(日)

第1次試験合格発表

7月24日(火)

第2次試験(指定した2日間)

8月4日(土)～8月10日(金)

第2次試験合格発表

9月14日(金)

配置予定校決定 採用前ガイダンス

平成31年3月上旬～中旬

採用

平成31年4月1日

アクセスマップ



お問い合わせ

相模原市教育委員会 教職員人事課(相模原市役所第2別館4F)

〒252-5277
神奈川県相模原市中央区中央2-11-15 TEL.042-769-8279(直通)

ホームページ ▶ http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/shokuin_annai/index.html

公式HPはこちら>

ホームページ ▶ <https://www.facebook.com/sagamihara.kyouinsaiyou/>

日々の情報ははこちら>

